

<緊急・アンケート>

<テーマ>福島県・採卵養鶏生産者における東日本大震災、ならびに福島原発に起因する農産物の風評被害に関するアンケート

採卵養鶏生産者名: こころん矢部農場

- 1) 3・11の東日本大震災、福島原発の放射性物質漏洩事故の直接被害、ならびに、福島県産農産物に対する放射性物質の汚染や風評被害等、被害の状況を記入願います。

地震による被害

鶏舎壁、天井の一部破損し、床が地割れする。(修繕中)

飼料9:71基が傾き横転の危険がある。

(新品に交換済み)

ストックしていた卵が横転:破損する。(在庫の4~5割)

放射能の被害

汚染はみらせない。卵から放射性物質は検出しない。

著しい風評被害はない。

- 2) 上記の一連の被害に関して、率直な気持ちや印象を教えてください。

地震による被害は「天災」なので仕方なく、納得できているが、この原発事故による被害は何も納得できていない。県産品はもう県内でしか消費できていない。しかし、この県内でさえ風評が県民を冒している現状をみると、福島県産品は「終わった」といえる。

- 3) 福島原発に起因する農産物の放射性物質の汚染や風評被害の対策として、ご自身で自主的に行っている内容(検査など)についてご記入願います。

第三者機関に卵の放射能検査を依頼した。結果を提示し、お客様には口頭で「安心」を伝えて販売している。

用水は井戸水を汲み上げており、飼料は倉庫にしまっており、完全自家配合飼料なので、不安はない。飼料は混ぜない。7月の使用なし。